



国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

2025年4月15日

令和7（2025）年度 第1回定例記者会見開催のお知らせ

日時：2025年4月18日（金）10:30～12:00
場所：豊橋技術科学大学 事務局3階大会議室
※YouTubeでのライブ配信は行いません。

<記者会見項目>

- ① 微細藻類と未利用農地を利用した新しい農業の提案（別紙1）
- ② 世界へ飛び出せ！“理系女子”が切り開く未来
～エラスムス・ムンドゥス(Erasmus Mundus)で広がる国際教育の可能性～（別紙2）
- ③ 2025年度 社会人向け実践教育プログラム
産業技術科学分野 7講座（新規1講座）
地域社会基盤分野 4講座 を開講します！（別紙3）

<本件連絡先>

総務課広報・地域連携室

広報係 高柳・太田

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509

PRESS RELEASE

2025年4月15日

微細藻類と未利用温室を利用した新しい農業の提案**【概要】**

- ・藻類の安定的かつ大規模な培養を可能にする新技術の開発に成功し、特許を出願しました。
- ・藻類の大規模培養を事業化するため、豊橋技術科学大学発ベンチャー「サイナルジ」を設立しました。
- ・コスト削減を目的とした“守り”の農業から、藻類による高付加価値な生産を通じて“攻め”の農業へと転換し、新たな産業の創出を目指します。

【概要】

光合成によって二酸化炭素を固定する藻類は、バイオ燃料や工業材料、飼料、食品、医薬品、化粧品など、さまざまな有用物質の生産に活用できる次世代のバイオマス資源として注目を集めています。これまで、さまざまな種類の藻類が研究室レベルで培養されてきましたが、屋外での大量培養が可能で、かつ産業利用に成功しているのは、スピルリナ、ユーグレナ、ナノクロロプシスなど、限られた種類にとどまっています。珪藻類は、抗肥満作用が期待されるフコキサンチンや、EPA・DHAといったオメガ3脂肪酸、さらには脂肪酸やシリカといった多様な有用成分の生産が可能な点で高く評価されています。しかし、珪藻類を用いた大量培養の事業化は、外部からの生物の混入（コンタミネーション）が問題となり、現時点ではほとんど実現されていないのが実情です。

豊橋技術科学大学応用化学・生命工学系の広瀬侑准教授は、藻類の光合成に関する基礎研究に長年取り組んできました。その研究の過程で、通常の生物が生育できない極限条件下で生育可能な珪藻類の単離および培養に成功しました。特殊な培地を利用することでコンタミネーションが効果的に抑制され、数百リットルスケールでの大量培養を実現することができました。この珪藻を利用した有用物質生産に関しては国際特許を出願済みで、社会実装の加速に向けて豊橋技術科学大学大学発のベンチャー企業も設立しています。現在は、耕作放棄された温室を活用した藻類の培養事業を展開するとともに、本珪藻を用いた製品開発に取り組む企業との連携先を開拓中です。また、珪藻以外のさまざまな藻類の大量培養に関する受託事業も手がけており、研究成果の実用化と地域資源の活用を両立させた取り組みを進めています。

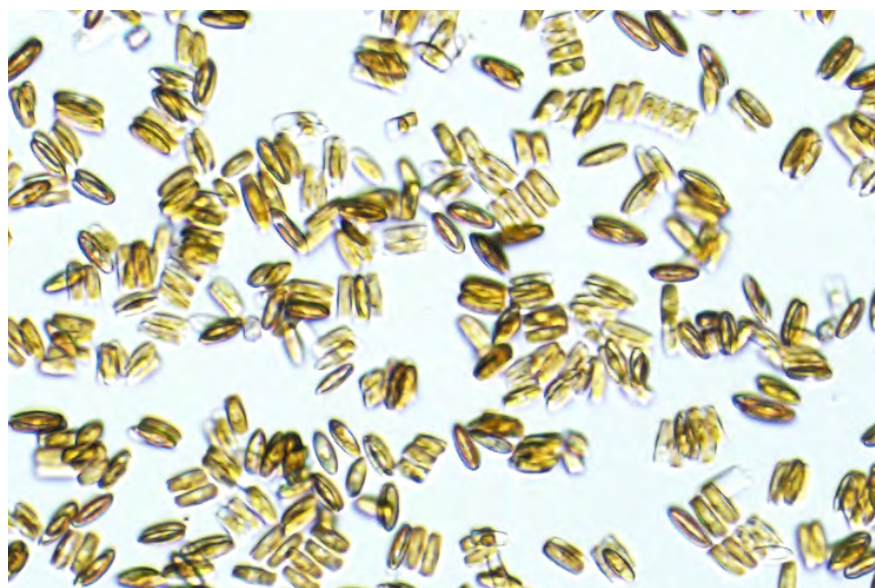


図1、本研究で大量培養に成功した珪藻株

【本件に関する連絡先】

■研究内容に関すること

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 准教授 広瀬 侑（ひろせ ゆう）

E-mail : hirose@chem.tut.ac.jp

■受託事業に関すること

合同会社サイナルジ 代表 広瀬 侑

E-mail : yhirose@sinalgae.com

■報道に関すること

豊橋技術科学大学 広報担当：総務課広報係 高柳・太田

TEL : 0532-44-6506 E-mail : kouho@office.tut.ac.jp



2025年4月15日

世界へ飛び出せ！“理系女子”が切り開く未来 ～エラスムス・ムンドゥス (Erasmus Mundus) で広がる国際教育の可能性～

<概要>

欧州委員会 (European Commission) 「エラスムス・ムンドゥス (Erasmus Mundus) 共同修士課程プログラム」は、EU が世界中の学生に国際的な学びの場を提供する歴史ある教育プログラムです。日本ではまだあまり知られていないこのプログラムに、豊橋技術科学大学博士前期課程情報・知能工学専攻に在籍する“リケジョ”坪井未来さんが合格。合格率 2% の狭き門を突破し、エラスムスの奨学生として、本学と欧州 3 カ国を移動しながら、2 年間の共同修士課程に挑みます。高等専門学校から豊橋技術科学大学、そして世界へ。日本の若者たちにとっての新しい学びのカタチが、今ここ豊橋技術科学大学で進行中です。

<詳細>

● エラスムス・ムンドゥス共同修士課程プログラムとは

エラスムス・ムンドゥス共同修士課程プログラムは、正式名称を「エラスムス・ムンドゥス・ジョイント・マスター (Erasmus Mundus Joint Masters: EMJM)」といい、国際共同プログラムの中でも歴史が古く、2004 年にエラスムス・ムンドゥス計画の一環として開始されたものです。EU 域外の学生へも門戸を広げ、2 つ以上の異なる国の高等教育機関で学び、1 つの共同修士学位 (ジョイント・ディグリー) または複数の修士学位 (ダブル・ディグリー、トリプル・ディグリー等) を取得するプログラムを推進するための欧州委員会による助成金事業です。

EMJM プログラムは、欧州の大学と世界中の高等教育機関をつなぐ“学びの交差点”です。質の高い教育と異文化理解の促進を目的に、学生や研究者が国際的に活躍するための支援が行われています。

● 坪井未来さんの挑戦

豊橋技術科学大学の博士前期課程情報・知能工学専攻に在学する坪井未来さんは、「近未来クロスリアリティ技術を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム (IMLEX プログラム)」の奨学生として合格しました。この IMLEX プログラムには、世界中から約 700 名の応募があり、その中で坪井さんは、わずか合格率 2% という狭き門を突破し、EU から支給される返済不要の給付型奨学金「エラスムス奨学金」の受給者に選ばれました。奨学生の枠はわずか 15 名に限られており、世界中の優秀な学生が競い合う中での選出は、坪井さんが本学で培ってきた資質と努力の証といえます。

坪井さんは香川県高松の出身。国立鈴鹿工業高等専門学校での学びを経て、本学の情報・知能工学課程 3 年次へ編入。在学中は、インターンシップに積極的に参加し、LINE ヤフー株式会社の前身である LINE や、株式会社メルカリ等、メガベンチャーでのインターンシップを経験しました。メルカリでは代表執行役 CEO の山田進太郎氏の前でプレゼンテーショ

ンを行い、坪井さんのチームが優秀賞に選ばれました。高専 GCON での最優秀賞に加え、これらのインターンシップを通して、多彩な経験を積み重ねてきました。

坪井さんは、まず豊橋技術科学大学で半年間の準備期間（アカデミックな英語能力の強化等）を経て、この秋からヨーロッパのパートナー大学への留学を開始します。留学先は、東フィンランド大学（フィンランド）、ジャンモネ大学（フランス）及びルーヴェン・カトリック大学（ベルギー）の 3 校で、各大学間で取得した単位が相互に認められます。その後、全ての学生が豊橋技術科学大学に集まり、XR（クロスリアリティ）*1 に関する専門科目などを受講、最終学期に修士研究を実施します。プログラムを修了すれば、豊橋技術科学大学の学位とヨーロッパ 3 大学のジョイント・ディグリーを取得することができます。

このプログラムの大きな特徴は、2 年間の修士課程の間に複数の大学を移動しながら学べる点にあります。また、産業界との連携も魅力です。日本のソニーコンピュータサイエンス研究所、フィンランドの世界的 XR 企業 Varjo、さらにフィンランド国営放送協会 YLE など、この XR 分野の最先端の企業との連携によって、インターンシップや実践的な修士研究を行うことが可能となっています。

● 世界を舞台にした学びとキャリア

本プログラムでは、単なる「机上の学び」にとどまらず、ソニーコンピュータサイエンス研究所（日本）や Varjo（フィンランド）、YLE（フィンランド国営放送）といった世界的企業との共同研究・インターンの機会が可能です。将来的には海外での就職や博士課程進学も視野に入れており、“日本だけ”にとどまらないキャリア形成を思い描き、わくわくしているそうです。

● 工学系での日本の挑戦

日本においてエラスムス・ムンドゥスプログラムは文系中心のイメージがありますが、本学のように実は理工系でも展開されています。東京大学、京都大学、大阪大学などが参加する中、豊橋技術科学大学も“工学×国際”の分野で存在感を高めています。本学は文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」にも採択され、積極的に国際連携教育を推進しています。

<今後の展望>

この IMLEX というエラスムス・ムンドゥスプログラムを開始する以前から、豊橋技術科学大学は、国際的な共同研究やダブル・ディグリープログラム等を推進してきました。理系分野で活躍する日本人女性が少ない中、坪井さんのような存在はまさに“未来の扉を開く鍵”。今後は、地方出身者や女子学生がグローバルに羽ばたくモデルケースとして、他の学生たちにも新たな選択肢と勇気を与える存在になると、坪井さんのご活躍に期待をしています。

ジェンダーギャップが根強く残る日本社会において、科学技術分野で活躍する女性のロールモデルとして、彼女の歩みは SDGs の観点からも注目しています。本学では今後も、世

界とつながる学びのチャンス을すべての学生に提供し、「学びの国際化」のさらなる加速を目指します。

*1 XR (Extended Reality / クロスリアリティ) とは、現実世界と仮想世界を融合・拡張する先端的な技術の総称で、以下の3つの技術を含みます。

1. VR (Virtual Reality / 仮想現実)

完全に仮想の世界を体験する技術。例：VRゴーグルを装着してバーチャル空間に入るゲームやシミュレーター。

2. AR (Augmented Reality / 拡張現実)

現実世界にデジタル情報を重ねて表示する技術。例：スマートフォンのカメラ越しにキャラクターや情報が表示されるポケモンGOなど。

3. MR (Mixed Reality / 複合現実)

現実と仮想の要素をリアルタイムで融合させ、相互作用が可能な体験を提供する技術。例：ホロレンズを使って仮想オブジェクトと現実空間で操作する体験。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報・地域連携室広報係 高柳・太田

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

世界へ飛び出せ！ “理系女子”が切り開く未来

～エラスムス・ムンドゥス(Erasmus Mundus)で広がる国際教育の可能性～

特命理事・副学長（DX・国際担当） 中内茂樹
博士前期課程情報・知能工学専攻 坪井未来

2025年4月18日
豊橋技術科学大学

国立大学法人
豊橋技術科学大学

「世界へ羽ばたくリケジョ」
— 豊橋技術科学大学・坪井未来さん、
EUエラスムス・ムンドゥス奨学生に選出！



Erasmus+

EU programme for education, training, youth and sport

エラスムス・ムンドゥス共同修士課程とは？

- ・ 欧州委員会（EU）主導の国際共同修士課程
- ・ 2か国以上の大学で学ぶ制度
- ・ 2004年開始、世界中の学生が対象
- ・ ジョイント/ダブル/トリプルディグリー取得可
- ・ 学費・生活費を支援する給付型奨学金あり

「エラスムス・ムンドゥス・ジョイント・マスター
(Erasmus Mundus Joint Masters: EMJM)」

「近未来クロスリアリティ技術を牽引する
光イメージング情報学国際修士プログラム
(IMLEXプログラム)」

Master of Science
in Imaging and Light in Extended Reality



◆VR技術の拓く世界

バーチャルトレーニング



製造業



医療・ヘルスケア



教育



エラスムス・ムンドゥス修士プログラム (EMJM) IMLEXプログラム 概要



IMLEX
Master of Science in
Imaging and Light in
Extended Reality
ERASMUS MUNDUS JAPAN

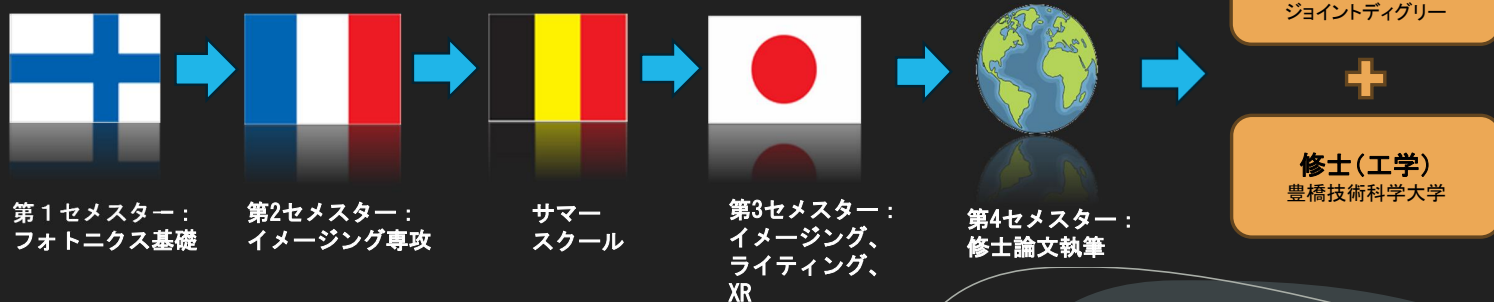
<フルパートナー>

- ・東フィンランド大学 (フィンランド)
- ・豊橋技術科学大学 (日本)
- ・ルーヴェン・カトリック大学 (ベルギー)
- ・サンテティエンヌ・ジャン・モネ大学 (フランス)

<アソシエイト・パートナー>

- ・ソニーコンピュータサイエンス研究所 (日本)
- ・Varjo (フィンランド)
- ・YLE Innovations (フィンランド)
- ・オタワ大学 (カナダ)
- ・千葉大学、宇都宮大学 (日本)
- ・産業技術総合研究所 (日本) 等

【学生モビリティ】



IMLEXプログラムについて

IMLEXプログラム (光イメージングとXR)

- ・ 近未来クロスリアリティ技術の修士課程
- ・ フルパートナー：
 - 東フィンランド大学 (フィンランド)
 - 豊橋技術科学大学 (日本)
 - サンテティエンヌ・ジャン・モネ大学 (フランス)
 - ルーヴェン・カトリック大学 (ベルギー)
- ・ 産業界との連携が特色
- ・ 豊橋技術科学大学で留学前研修後、2025年秋から欧州3か国へ



狭き門を突破した快挙

エラスムス奨学生として、合格率2%の枠を突破！

- ・ 世界から約700名応募、奨学生選出は15名
- ・ 欧州委員会による「エラスムス奨学金」受給
- ・ 給付型・返済不要の奨学金
- ・ これまでは、豊橋技術科学大学の枠があったが、2025年度からは、世界の学生700名の中の1人として応募

国立大学法人
豊橋技術科学大学

坪井未来さんの歩み

香川・高松市出身

国立鈴鹿高専

高専GCON2021：最優秀賞受賞

国立鈴鹿高専

+ トウルク応科大(フィンランド) 交換留学
→ 豊橋技科大編入、情報・知能工学専攻

積極的にインターン/プログラム参加

- Mercari BOLD Program for Women: US Edition 優秀賞
- 株式会社 Dots for (ペナン共和国) 長期インターン
- レーゲンスブルク大学(ドイツ) 海外実務訓練

IMLEXプログラムへ

- ・ 研究×実践を重ねる
- ・ 多彩なプロジェクト経験
- ・ 学内外での積極的な挑戦が成果に結実



交換留学中に
日本を紹介している様子



高専GCON2021のメンバーと



レーゲンスブルク大学での
実務訓練の様子

国立大学法人
豊橋技術科学大学

世界で学ぶ・働く

国際的なキャリアパスへ向けて

- ・ 企業連携による実践型研究
 - ソニーコンピュータサイエンス研究所（日本）
 - Varjo（フィンランド）
 - YLE（フィンランド国営放送）
- ・ 博士進学や海外就職も視野に

新しい学びのモデルケース

- ・ 地方×女子×理系×国際
- ・ 坪井さん＝「未来の扉を開く挑戦」
- ・ 他の学生にも勇気と可能性を示す存在へ

豊橋技術科学大学 “工学×国際”の先進的挑戦 “世界とつながる学び”の実現へ



- ・ SDGs視点でも注目のリケジョロールモデル
- ・ 本学は今後も学生の挑戦を支援
- ・ 「学びの国際化」のさらなる加速を目指す
- ・ 2025年エラスムス・ムンドゥス共同修士課程において、日本からフルパートナーとして参加しているのは本学と京都大学のみ
- ・ Erasmus以外にも、ダブルディグリープログラムや「大学の世界展開力強化事業」に採択

国立大学法人
豊橋技術科学大学

◆エラスムス＋プログラムの採択



本学は、2019年度から開始した「近未来クロスリアリティ技術を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム（Master of Science in Imaging and Light in Extended Reality：IMLEX）」（IMLEXプログラム）の第2期（2025年～）のプログラムが、欧州委員会の執行機関である「教育・文化執行機関(EACEA)」によりエラスムスプラスプログラム（エラスムス・ムンドゥス修士プログラム）として採択されました。

国立大学法人
豊橋技術科学大学

◆エラスムス+プログラムの採択

IMLEXプログラム：

- ・本学の情報・知能工学系において、2019年度より開始した**EUの連携大学**（東フィンランド大学（フィンランド）、サンテティエンヌ・ジャン・モネ大学（フランス）及びルーヴェン・カトリック大学（ベルギー））との**共同修士プログラム**
- ・東フィンランド大学のVRインターフェース技術、サンテティエンヌ・ジャン・モネ大学の画像レンダリング技術、ルーヴェン・カトリック大学の人間工学に基づいた照明技術および本学の認知科学の研究を組み合わせ、バーチャルリアリティの理論的理解に加え、応用に関する高い実践力を持つ 専門家を育成することを目指したものです。
- ・2019年度から2023年度までは、日本の文部科学省からの補助金（「大学の世界展開力強化事業－日・EU戦略的高等教育連携支援－」）を受けて実施し、これまでに日欧合わせて48名の修了生を輩出しています。
- ・これまでの5年間の実績をもとに、**2025年からのエラスムス+プログラム**に、第2期IMLEXプログラムとして、フルパートナー（正参加機関）としての申請を行い、このたび、**採択**となりました。助成期間は、準備期間も含め、2024年から2029年までとなっています。

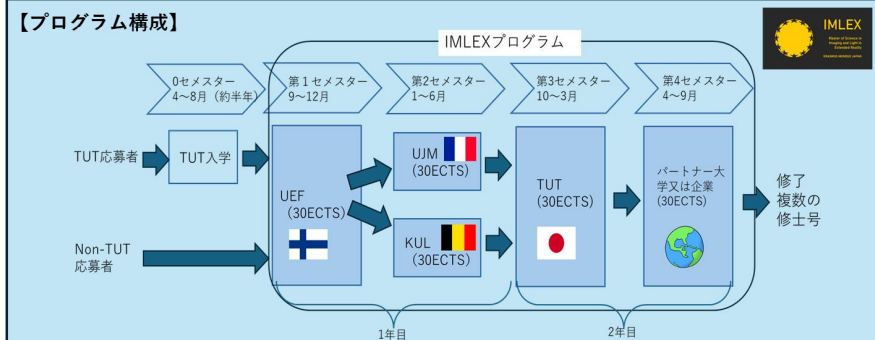
国立大学法人
豊橋技術科学大学

<これまでの実績>

近未来クロスリアリティ技術を牽引する光イメージング情報学国際修士プログラム(IMLEX)

- 本学と欧州連携大学（東フィンランド大学（フィンランド）、ルーヴェン・カトリック大学（ベルギー）、サンテティエンヌ・ジャン・モネ大学（フランス））のコンソーシアムで行われ、**3大学からの学位取得を可能としている。**
- 日欧初となる共同修士課程プログラム。**グローバル化やIT技術が加速的に進み、今後リアルな空間とバーチャルな空間の融合する、**予測不可能な世の中がやってくる**ことが予想される。IMLEXプログラムでは**そのような流れに対応できる技術、能力を持った人材を育て、**これまでにない「体験」を提供する産業への貢献も期待。

教職員、学生の交流実績						
	2019	2020	2021	2022	2023	2024
学生派遣	0	7	2	8	9	4
学生受入	0	8	13	11	9	5~7
教職員派遣	9	0	0	6	6	未定
教職員受入	7	2	0	1	4	未定



【英語力要件】 本学では**意欲重視で派遣学生を決定**している。これまでにTOEIC500点に満たない学生も派遣したが、すべての学生が**帰国時には750点以上の英語力と、ソーシャルスキル（自ら考え、創造し、判断し、問題を解決する力）**を身に付けている。

【実績】 これまでに**30名の修了生**を輩出した。93%の学生が就職し、その他は博士後期課程に進学している。EU側からの参加学生のうち6名は修了後日本国内にて就職、進学又は就職活動を行っている。

【得られたアウトカム】
プログラムの質はコンソーシアム内の**質保証委員会と外部機関により担保**され、改善を加え、プログラム開始から5年が経過しているが、EUからの**応募者は年々増加**している。国内での波及効果も高く、高専学生からの本プログラムへの問合せもあり、進学を決める材料ともなっている。

【自主化に向けた取組】
世界規模で同窓生ができることは何よりの財産であり、この実績と日欧の教育交流強化の流れから、2025年度からは、**欧州のパートナー大学とともに、財政的な支援を確保の上プログラムを継続**すべく、ERASMUS基金へ申請し**採択**された。

【応募人数推移】

	2020	2021	2022	2023
応募人数	116	108	224	243

拡張現実技術(XR)の基盤となるイメージング、ライティング技術とその認知科学的作用を理解・習得。

◆第1セメスター@UEF：フォトニクス基礎
アイトラッキング、ロボティクス、アルゴリズムデータアナリシス、光工学等

◆第2セメスター：ImagingとLightingの専門コースへ

UJM：Imaging
コンピュータレンダリング、AIの応用、ロボティクス、ヒューマンロボットインタラクションなど

KUL：Lighting
実用的な照明デザイン、新しい照明ビジネスモデルの修得、照明デザインに新しい次元を追加するVR、光工学基礎と応用など

◆インターンシップ（任意）：7月～9月
学生は任意でフィンランド、ベルギー、フランスの大学または企業にてインターンシップを行う。

◆第3セメスター@TUT：XR概念の導入、AI、ロボティクス、認知科学との融合
VRデバイスを用いた心理物理学実験を実施し、認知科学や心理学の側面から人間の認知のメカニズムについて学ぶ。同実験ではIMLEX参加学生と、学部学生が共に授業を受け、ヨーロッパの大学で最先端の技術を学んできた学生の研究を目の当たりにし、英語での授業の素養も身に付けられる刺激のある授業となっている。

※TUT：豊橋技術科学大学、UEF：東フィンランド大学、UJM：サンテティエンヌ・ジャン・モネ大学、KUL：ルーヴェン・カトリック大学



(別紙 3)

国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

2025年4月15日

2025年度 社会人向け実践教育プログラム**産業技術科学分野 7 講座（新規 1 講座）****地域社会基盤分野 4 講座 を開講します！**

<概要>

社会連携推進センターでは、2016(平成 28)年度から、高度技術者育成を進める社会人向けの実践教育プログラムを開講しています。今年度は 11 講座を開講しますので、リカレント、リスキリングにぜひご活用ください。

<詳細>

● 2025年度 社会人向け実践教育プログラム

【産業技術科学分野】先端ものづくりや起業など産業イノベーション人材の育成

	○集積回路技術講習会
	○半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演
募集開始	○技術者養成研修（工作支援部門・初級機械加工）
募集開始	○技術者養成研修（工作支援部門・初級旋盤加工）
募集開始	○技術者養成研修（工作支援部門・初級フライス加工） ★新規
	○先端データサイエンス実践コース
	○哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメージング実習

【地域社会基盤分野】農業、防災など地域課題解決に資する地域イノベーション人材の育成

募集開始	○最先端植物工場マネージャー育成プログラム
募集開始	○IT 食農先端士養成プログラム（最先端土地利用型 IT 農業コース）
募集開始	○東海地域の 6 次産業化推進人材育成プログラム
	○スマート農業 特別講義

＊詳細はこちら <https://www.tut.ac.jp/develop/cooperation/ecourse.html#anc03>

◆企業向け人材育成プログラム

上記以外に個別企業向けのオーダーメイドのプログラムのご要望にもお応えします。
お気軽にお問い合わせください。

本件に関する連絡先

担当：研究推進課産学連携係 野口 TEL:0532-44-6613

広報担当：総務課広報・地域連携室広報係 高柳、太田 TEL:0532-44-6506 FAX: 0532-44-6509

豊橋技術科学大学

社会人向け実践教育プログラム 2025

産業技術科学分野

プログラム名	内容、日程等
集積回路技術講習会	半導体(LSI)製造工程を設計・製作から評価まで実習を中心に一貫して学ぶ講習会 ● 7月中の連続した5日間(45時間)【対面】
半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演	半導体製造現場を体感することを目的としたプロセス技術の実演を交えた講習・見学会 ● 随時受付、1日(4時間)【対面】
先端データサイエンス実践コース	データサイエンスの基礎から実践的応用までを学べる人材養成講座 ● 10月～翌年2月(全10日)(63時間)【オンライン】
哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメージング実習	細胞の培養、観察、遺伝子導入など、講義・実習を交えて知識と技術を習得 ● 随時受付、連続3日(18時間)【対面またはオンライン】
技術者養成研修(初級機械加工)	機械加工を体験し、設計業務に活かしたい技術者向け ● ①6/5-6/6、②10/23-10/24 2日(10時間)*同内容で2回開催【対面】
技術者養成研修(初級旋盤加工)	これから旋盤作業に従事する新人社員及び機械加工を体験し設計業務に活かしたい技術者向け ● ①5/8、②5/15 1日(6時間)*同内容で2回開催【対面】
NEW 技術者養成研修(初級フライス加工)	機械加工を体験し、設計業務に活かしたい技術者向け ● 2026年2月中旬 2日(12時間)【対面】

地域社会基盤分野

プログラム名	内容、日程等
履修証明 最先端植物工場マネージャー育成プログラム	最先端施設園芸である植物工場の管理、経営ができる農業者を育成し地域の活性化を図る ● 6月～翌年3月、9ヶ月(111時間)【オンライン・教室講義、学会参加等】
履修証明 IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)	ITを農業に導入し、地域の担い手となる土地利用型農業の経営ができる人材を育成 ● 6月～翌年3月、9ヶ月(105時間)【オンライン・教室講義、学会参加等】
履修証明/BP 東海地域の6次産業化推進人材育成プログラム	農業者等が新規参入を検討している企業関連ビジネスなどを設計し意思決定ができる人材を育成 ● 9月～翌年1月、5ヶ月(67時間)【オンライン・教室講義、視察、ビジネスプラン作成・発表】
スマート農業 特別講義	スマート農業技術等の講義をリモートで実施し、地域の担い手となる農業者を育成 ● 9/3～翌年1/21、6回(9時間)【オンライン】

東三河で学んでキャリアアップ！セミナー探そう



東三河 セミナビ



本学が企画する産学官金コンソーシアム「社会人キャリアアップ連携協議会」のセミナー紹介サイト

4 質の高い教育を
みんなに



【お問い合わせ】

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
国立大学法人 豊橋技術科学大学
社会連携推進センター(研究推進課産学連携係)
TEL : (0532) 44-6613
FAX : (0532) 44-6984
Email : jinzai@office.tut.ac.jp
<https://www.sharen.tut.ac.jp/>



産業技術科学分野

集積回路講習会

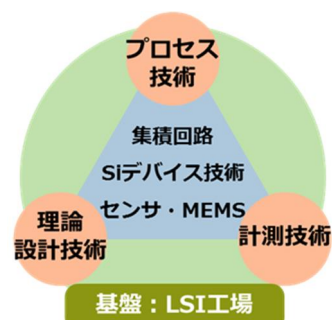
講師：次世代半導体・センサ科学研究所 澤田和明 教授、石川靖彦 教授、岡田浩 教授 他（集積電子システム分野全教職員）

概要：「nMOS 集積回路の製作と集積回路設計の基礎」をテーマに参加者各自が自身の手で Si ウェハを扱い、半導体 (LSI) 設計・製造から評価までを一貫して LSI 工場内での実習を中心に学ぶことで、半導体技術の全体像を理解する。

開催日：7 月中の連続した 5 日間（45 時間）【対面】

募集人員：10 名（最少催行人数 3 名）＊修士レベル

受講料：350,000 円



半導体プロセス技術の基礎講習とプロセス実演

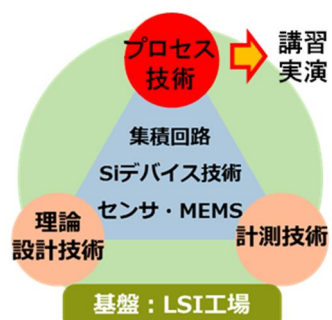
講師：次世代半導体・センサ科学研究所 飛沢健 高度専門員

概要：半導体プロセス技術・製造装置の基礎講習を行ったあとに、クリーンルームに入り、装置を稼働させて実演を行う。近年、半導体製品を扱うメーカーの多くは、工場を持たないため、製造現場を体感することで、特に若手の技能向上につながる。講習内容・見学したい装置は要望に応じて可能な限り対応。

開催日：随時受付（4 時間）【対面】

募集人員：5 名（最少催行人数 3 名）＊学部レベル

受講料：1 機関 5 名まで 100,000 円



先端データサイエンス実践コース

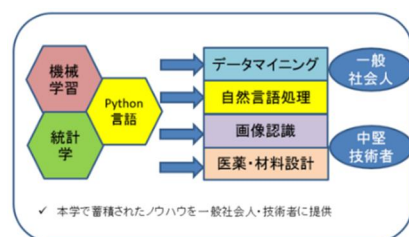
講師：IT 活用教育センター/情報・知能工学系 後藤仁志 教授、原田耕治 准教授、金澤靖 准教授

概要：統計学や機械学習などのデータサイエンスの基礎理論から、「データマイニング」「自然言語処理」「画像処理」「医薬・材料設計」などの実践的応用のための基本的な技術や考え方を総合的に学ぶことができるよう、段階的に取り組む。オンデマンド自習とオンライン講義にて実施。

開催日：10 月～翌年 2 月（全 10 日）（63 時間）【オンライン】

募集人員：10 名（最少催行人数 2 名）＊学部レベル

受講料：20,000 円 教材費：100,000 円



哺乳類細胞株による形質導入とバイオイメーキング実習

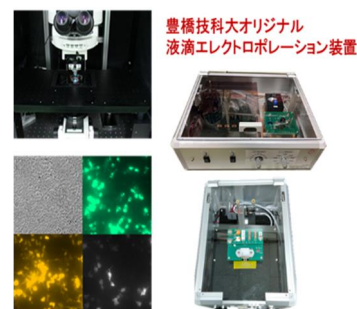
講師：次世代半導体・センサ科学研究所 沼野利佳 教授

概要：細胞の培養からリアルタイム蛍光シグナル観察などの細胞イメージング技術、遺伝子導入、ゲノム編集まで、講義・実習を交えて基本知識と技術を習得。＊細胞の扱いや、イメージングなどの具体的な実習内容については、事前に相談の上、出来る限り対応。

開催日：随時受付、連続 3 日（18 時間）【対面またはオンライン】

募集人員：3 名（最少催行人数 2 名）＊学部レベル

受講料：100,000 円（2 名から 3 名まで定額）



産業技術科学分野

技術者養成研修（工作支援部門・初級機械加工）

講師：機械工学系 小林正和 教授、田尻大樹 助教、教育研究基盤センター（工作支援部門）技術職員

概要：設計や加工担当の新入社員の研修に最適！知っておきたい、興味があるけど今さら聞けない「機械加工技術」について、旋盤・フライス盤・レーザーマーカで、ハンマー作りを体験。M/C・CNC 旋盤・レーザ加工機・ワイヤ放電加工機・3D プリンタ等の機器見学も。

開催日：6/5-6/6、10/23-10/24 各2日（10時間）＊同内容で2回開催

【対面】

募集人員：4名（最少催行人数2名）＊学部レベル

受講料：10,500円 ※500円は保険代



技術者養成研修（工作支援部門・初級旋盤加工）

講師：機械工学系 小林正和 教授、田尻大樹 助教、
教育研究基盤センター（工作支援部門）技術職員

概要：普通旋盤を使用し、課題の設計・製作を通して、機械操作の基本と旋削加工（外径削り、段付き加工、テーパ加工等）を体験学習（新入社員研修に最適）。

開催日：5/8、5/15 各1日（6時間）＊同内容で2回開催【対面】

募集人員：4名（最少催行人数1名）＊学部レベル

受講料：5,500円 ※500円は保険代



技術者養成研修（工作支援部門・初級フライス加工）

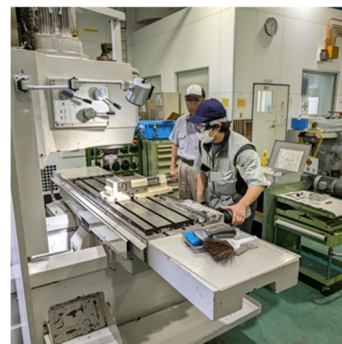
講師：機械工学系 小林正和 教授、田尻大樹 助教、教育研究基盤センター（工作支援部門）技術職員

概要：設計や加工担当の新入社員の研修に最適！マシニングセンタなどの数値制御による工作機械の基礎である「フライス盤」を中心に使用して、ミニバイス作りを体験。それぞれの加工体験を通して、数値制御や座標系とともに刃具周速度、送り速度および切り込み量といった切削条件の基礎的概念を学ぶ。また、研修会終盤には大学が保有する各種工作機器の見学ツアーも用意。

開催日：2026年2月中旬 2日（12時間）【対面】

募集人員：4名（最少催行人数2名）＊学部レベル

受講料：10,500円 ※500円は保険代



自社専用の講座をご検討でしたら、

企業向け人材育成 『オーダーメイド講座』 はいかがでしょうか？

- ・ 個別企業のニーズに対応した人材育成講座です。
- ・ 本学のカリキュラムをアレンジして、オーダーメイド講座を企画します。

※個別のご要望に対応させていただきます。お気軽にご相談ください。

社会連携推進センター（研究推進課産学連携係）

Email : jinzai@office.tut.ac.jp TEL : (0532) 44-6613



地域社会基盤分野

最先端植物工場マネージャー育成プログラム

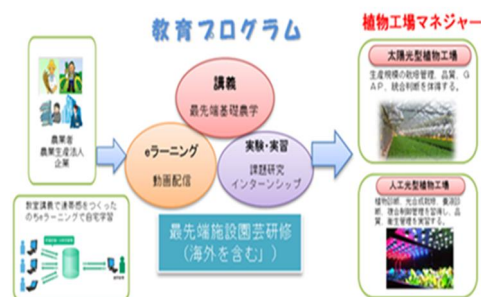
講師：先端農業・バイオリサーチセンター 山内高弘 特命教授 他

概要：光制御技術・センサー関連技術・植物生態情報計測技術などの工学的知識や農業技術、スマート農業における研究の最前線について講義、実習を行い、次世代植物工場モデルの管理運営ができる人材を育成し、農業と地域の活性化を図る。

開催日：6月～翌年3月（111時間）、9ヶ月【オンライン・教室講義、学会参加等】

募集人員：10名（最少催行人数5名）＊学部レベル

受講料：150,000円（割引制度あり）



IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型IT農業コース）

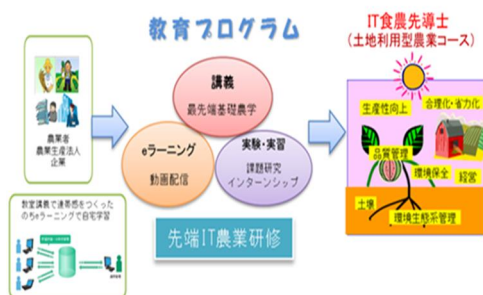
講師：先端農業・バイオリサーチセンター 山内高弘 特命教授 他

概要：IT（ICT）を農業に導入するために、光制御技術・センサー関連技術・植物生態情報計測技術などの工学的知識や農業技術、スマート農業における研究の最前線を学び、土地利用型農業の管理運営ができる人材を育成する。

開催日：6月～翌年3月、9ヶ月（105時間）【オンライン・教室講義、学会参加等】

募集人員：5名（最少催行人数3名）＊学部レベル

受講料：150,000円（割引制度あり）



東海地域の6次産業化推進人材育成プログラム

講師：先端農業・バイオリサーチセンター 山内高弘 特命教授 他

概要：農業者や農業分野へ新規参入を検討している企業関連ビジネスなどを設計し、その実施に向けた意思決定ができる人材を育成し、東海地域の6次産業の活性化を図る。＊修了生は内閣府の国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー」レベル3での申請が可能。

開催日：9月～翌年1月、5ヶ月（67時間）【オンライン・教室講義、視察、ビジネスプラン作成・発表】

募集人員：10名（最少催行人数5名）＊学部レベル

受講料：80,000円（割引制度あり）



スマート農業 特別講義

講師：先端農業・バイオリサーチセンター 高山弘太郎 教授、山内高弘 特命教授 他

概要：スマート農業や、カーボンニュートラル関連技術である〔植物生体情報計測、農業とリモートセンシング（画像診断等）、農業ロボットと画像処理、オーガニック等〕の講義をオンラインで一般の社会人が幅広く受講できるように実施し、将来地域の担い手となりうる農業者育成を目的とする。

開催日：9/3～翌年1/21、6回（9時間）【オンライン】

募集人員：40名（最少催行人数20名）＊学部レベル

受講料：10,000円



先端農業・バイオリサーチセンター 社会人向け実践教育プログラム

— 工学と農学の融合で、農業の未来を支える知識とスキルを習得 —

最先端植物工場マネージャー育成プログラム

IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)

東海地域の6次産業化推進人材育成プログラム

スマート農業特別講義

講座の特長

オンライン主体で学びやすい

土曜日中心（一部平日夜）のオンライン講義で、仕事や生活と両立しながら受講でき、欠席の場合もアーカイブ受講が可能

実践的なカリキュラム

農業技術・経営・6次産業化など、現場で役立つ知識とスキルを体系的に学ぶ

幅広い対象者向け

農業従事者だけでなく、新規参入を目指す企業関係者、個人、学生も受講可能

専門家・実務家による講義

大学の研究者や業界の第一線で活躍する講師陣が、最新の知見を提供

先進事例を学ぶ機会

事例調査研修や学会参加を通じて、最新の農業トレンドをキャッチアップ

ビジネスに活かせる学び

経営戦略や財務・会計の知識も習得し、事業計画の策定や実践に役立てる



先端農業・バイオリサーチセンター

本学の開学30周年記念事業の一環として2006年に設立されました。農業や関連分野に向けた農工融合型の研究開発と実用化を目指し、異なる分野の教員が連携しながら活動しています。持続可能な食料生産を支える次世代型農業技術や、高度な食農・バイオ・センサー・環境技術の開発に取り組むとともに、地域農業の振興や人材育成にも貢献しています。

最先端植物工場マネージャー育成プログラム

IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型IT農業コース）

共通科目（必修）

植マネ

IT食農

※日にちはすべて土曜日（スマート農業特別講義除く）

No.	日にち	科目名	講師所属	講 師	形 式	授業時数
1	6月7日	植物生理学	豊橋技術科学大学	山内 高弘	対面	6
2	6月14日	土壌植物栄養学	愛知県経済農業協同組合連合会	池田 彰弘	オンライン	6
3	6月21日	農業経営学	愛知大学	藤井 吉隆	オンライン	6
4	6月28日	情報管理論	愛知県立大学	入部 百合絵	演習(対面)	6
5	7月5日	資源植物学	株式会社TOWING	熊崎 忠	オンライン	6
6	7月12日	環境経営論	東洋大学	後藤 尚弘	オンライン	6
7	7月19日	植物保護学	愛知県経済農業協同組合連合会	松崎 聖史	オンライン	6
8	7月26日	農業関連バイオテクノロジー論	豊橋技術科学大学	中鉢 淳	オンライン	6
9	8月9日	農業環境計測論	日本大学	梅田 大樹	オンライン	6
10	10月11日	食品安全対策のためのHACCP管理について	豊橋市保健所	山本 新也	オンライン	3
11	10月11日	農産物の品質管理(GAP概要)	一般社団法人 GAP普及推進機構	山本 英治	オンライン	3
12	11月1日	マーケティングと経営戦略	MORE経営コンサルティング株式会社	日野 眞明	演習(対面)	6
13	11月22日	農業における制度会計 (財務会計・税務会計)と管理会計	税理士法人 成和	渡邊 利明	演習(対面)	6
14	12月6日	スマート農業演習	豊橋技術科学大学	磯山 侑里	演習(対面)	6
15	9月3日 9月17日 10月15日 11月19日 12月17日 1月21日	スマート農業特別講義 (全6回 1.5時間/回)	豊橋技術科学大学	各回担当	オンライン	9
16	任意	学会・シンポジウム参加 (期間中2回)			任意	6

専門科目（必修）

植マネ

※日にちはすべて土曜日

No.	日にち	科目名	講師所属	講 師	形 式	授業時数
1	8月23日	施設園芸学	株式会社 大仙	河合 幹裕	オンライン	6
2	9月6日	施設園芸工学(植物診断)	豊橋技術科学大学	高山 弘太郎	オンライン	6
3	9月20日	養液管理論	明治大学	岩崎 泰永	オンライン	6

専門科目（必修）

IT食農

※日にちはすべて土曜日

No.	日にち	科目名	講師所属	講 師	形 式	授業時数
1	8月30日	環境保全型農業論	日本大学	佐々木 大	オンライン	6
2	9月13日	有機農業概論	特定非営利活動法人 有機農業推進協会	外園 信吾	オンライン	6

共通科目（特別選択）

植マネ

IT食農

No.	日にち	科目名	講師所属	講 師	形 式	授業時数
1	個別対応	課題解決技術科学研究	豊橋技術科学大学 農業者、企業等	各担当	個別対応	

※都合により日程等変更する場合があります ※対面（演習）科目は豊橋技術科学大学等で実施予定です

※共通科目（特別選択）の受講には、追加で費用のご負担が必要です（受講料には含まれません） ※学会・シンポジウム参加に係る費用は各自で負担ください

※スマート農業特別講義の個別科目は、「スマート農業特別講義」日程をご覧ください

東海地域の6次産業化推進人材育成プログラム

必修科目

※日にちはすべて土曜日

No.	日にち	科目名	講師所属	講師	形式	授業時数
1	9月27日	基本理念(ビジョン)の共有	豊橋技術科学大学	山内 高弘	演習(対面)	2
2	9月27日	「食の6次産業化プロデューサー」について	一般社団法人 食農共創プロデューサーズ	長谷川 潤一	対面 (講師のみオンライン)	1
3	9月27日	ファシリテーション	株式会社ソーシャル・アクティ	林 加代子	演習(対面)	2
4	10月4日	6次産業化推進のポイントについて	愛知大学	藤井 吉隆	オンライン	6
5	10月11日	食品安全対策のためのHACCP管理について	豊橋市保健所	山本 新也	オンライン	3
6	10月11日	農産物の品質管理(GAP概要)	一般社団法人 GAP普及推進機構	山本 英治	オンライン	3
7	10月18日	先進事例調査研修	豊橋技術科学大学、農業者、企業等	各施設担当	現地視察	4.5
8	10月25日	6次産業化実践論	食と農研究所	加藤 寛昭	オンライン	6
9	11月1日	マーケティングと経営戦略	MORE経営コンサルティング株式会社	日野 眞明	演習(対面)	6
10	11月15日	ビジネスプランの作成 I	有限会社F.T.Y.	山村 友宏	演習(対面)	6
11	11月22日	農業における制度会計 (財務会計・税務会計)と管理会計	税理士法人 成和	渡邊 利明	演習(対面)	6
12	12月13日	食品加工論	愛知大学 名誉教授	功刀 由紀子	オンライン	6
13	12月20日	6次産業化における事業構想のポイント	豊橋信用金庫	西郷 鎮廣	オンライン	2.5
14	12月20日	農業制度資金の活用と経営支援の仕組み	日本プロ農業総合支援機構	玉井 比佐夫	オンライン	2
15	1月10日	ビジネスプランの作成 II	有限会社F.T.Y.	山村 友宏	演習(対面)	6
16	1月24日	ビジネスプランの発表	有限会社F.T.Y. 愛知大学 地域文化創造研究所 株式会社 石巻柿工房	山村 友宏 藤井 吉隆 横山 順子 原田 愛子	演習(対面)	6

※都合により日程等変更する場合があります ※対面(演習)科目は豊橋技術科学大学等で実施予定です

※「食の6次産業化プロデューサー」についてはガイダンスのため、授業時数には含まれません

共通科目(選択)

植マネ

IT食農

6次産業化

※日にちはすべて土曜日

No.	日にち	科目名	講師所属	講師	形式	授業時数
1	11月29日 1月17日	先進事例調査研修 (2回予定)	豊橋技術科学大学 農業者、企業等	各施設担当	現地視察	

※都合により日程等変更する場合があります ※共通科目(選択)の受講には、追加で費用のご負担が必要です(受講料には含まれません)

※プログラム受講生以外も日程毎に参加申込みできます(行程決定後、参加者を募集予定)

※日にちはすべて水曜日(18:00~19:30)

スマート農業特別講義

※講師はすべて豊橋技術科学大学所属

No.	日にち	科目名	講師所属	講師	授業時数
1	9月3日	生育状態の見える化 “植物生体情報計測”の活用最前線	先端農業・バイオリサーチセンター長 機械工学系 教授 愛媛大学 食料生産学専攻 教授	高山 弘太郎	1.5
2	9月17日	次世代半導体・センサ科学が 目指す農業用センサー	次世代半導体・センサ科学研究所 准教授	野田 俊彦	1.5
3	10月15日	ドローン最前線と農業利用 (画像計測の事例)	情報・知能工学系 准教授	金澤 靖	1.5
4	11月19日	DNAシーケンシングによる土壌 生物相のモニタリング	先端農業・バイオリサーチセンター 副センター長 応用化学・生命工学系 教授	浴 俊彦	1.5
5	12月17日	農業生産の環境インパクト ～ゼロ・エミッションを目指して～	先端農業・バイオリサーチセンター 副センター長 建築・都市システム学系 教授	井上 隆信	1.5
6	1月21日	持続的な農業に向けた“LCA(ライフサイ クルアセスメント)”を学び始める	先端農業・バイオリサーチセンター 特任助教	磯山 侑里	1.5

※都合により日程等変更する場合があります ※オンライン実施、アーカイブ配信あり

社会人を対象としたオンライン主体で学べる実践的なカリキュラムです。
最先端の知識を体系的に学び、農業分野での新たな挑戦や事業展開に活かせるスキルを習得します。
働きながらでも学びやすい環境で、実践力を高めたい方に最適です。

募集概要

	植マネ	IT食農	6次産業化	スマート
受講期間	2025年6月～2026年3月		2025年9月～2026年1月	2025年9月～2026年1月
構成	オンライン講義 演習講義（対面） 視察 学会等参加		オンライン講義 演習講義（対面） 視察 ビジネスプラン作成・発表	オンライン講義
	※講義はオンライン中心（一部演習等は対面で受講） ※欠席の場合もアーカイブ配信で受講可能			※アーカイブ配信で受講可能
募集人員	植マネ 10名 IT食農 5名		10名	定員なし
受講料	150,000円 （割引後受講料： 80,000円または50,000円） ※植マネ・IT食農を同時受講の場合、 1講座分の受講料+20,000円		80,000円 （割引後受講料： 50,000円または30,000円）	10,000円 （割引後受講料：5,000円）
	※各プログラム割引制度あり ※要件など詳細は募集要項をご確認ください			
受講資格	①高等学校卒業程度の学力を有する方 ②食農産業に関心のある方 ③オンライン講義が受講できる等Webサービス活用の基本的なスキルのある方			特になし
申込期間・方法	2025年4月1日（火） ～5月9日（金）		2025年5月1日（木） ～6月24日（火）	2025年5月1日（木） ～8月8日（金）
	※書式をダウンロード、作成の上、メールでお送りください			※申込みフォームより 必要事項を入力してください
	※詳細はウェブサイトをご確認ください			
履修証明プログラム	○		○	
職業実践力育成プログラム（BP）			○	
「食の6次産業化プロデューサー」育成プログラム			○	

お問い合わせ

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

<https://www.recab.tut.ac.jp/>

電話：0532（44）6655 E-mail：info@recab.tut.ac.jp



※「東海地域の6次産業化推進人材育成プログラム」
文部科学省 職業実践力育成プログラム（BP）認定
内閣府の国家戦略プロフェSSIONAL検定「食の6次産業化プロデューサー（愛称：食Pro.）」育成プログラム認証講座

初級旋盤加工講座

各種旋盤の中で、基本となる普通旋盤を使用し、機械操作の基本と旋削加工（外径削り、段付き加工、テーパ加工等）を課題の設計と製作を通して体験学習します。

日時 5/14（水）、5/28（水）の2回
（講座は1日です）

会場 豊橋技術科学大学
教育研究基盤センター附属実験実習工場

対象者 機械加工初心者

新入社員研修に
最適！

定員 4名（最少催行人数 2名）

本講座は対面講座です。

感染症拡大の状況によっては、開催中止となる場合があります。

担当講師

【講義】 機械工学系 【実習】 教育研究基盤センター
小林 正和教授 工作支援部門
田尻 大樹助教 技術職員



手回しコマ（製作例）



【お問い合わせ先】
豊橋技術科学大学
研究推進課 研究推進係

TEL: 0532-44-6549
email: kencen@office.tut.ac.jp

【開催日時および時間割】

2025年5月14日（水）、5月28日（水） *各日同内容

【申込関係】

日 程	内 容	場 所
9:00 ~ 9:15	受 付 受講料お支払い、テキスト等配付、着替え等	教育研究基盤センター 附属実験実習工場
9:15 ~ 9:30	開講式 教育研究基盤センター長挨拶（石川 靖彦教授） 講師紹介・講師挨拶	
9:30 ~ 10:30	講 義 工作機械の種類と概要（小林正和教授、田尻大樹助教）	
10:30 ~ 11:30	説 明 実習内容と安全講習（技術職員）	
11:30 ~ 12:30	昼休憩	本学福利施設の利用可
12:30 ~ 15:30	設計・実習 製作課題の設計 普通旋盤：外径削り 段付き加工 テーパ加工 動作試験（性能・機能評価）	教育研究基盤センター 附属実験実習工場
15:30 ~ 15:45	質疑応答	
15:45 ~ 16:00	閉講式 修了証書授与、写真撮影 教育研究基盤センター長挨拶（石川 靖彦教授）	

対象者	機械加工初心者 (企業の技術者、高等専門学校教員、工科高等学校教員等)
受講料	5,500円（保険料500円含む） (受講料は当日、受付にて現金でお支払いをお願いいたします)
申込期限	① 5/14（水）開催分 → 4/30（水） ② 5/28（水）開催分 → 5/14（水） (各日とも定員4名になり次第、受付終了)
持ち物	筆記用具、作業着、安全靴 [※] 、安全メガネ [※] 、 作業帽子 [※] [※] 貸与可能です。当日お申し出ください。

● 全課程を修了された方には修了証書を授与いたします。

申込方法

「お申込みはこちらのページ『技術者養成研修』内の
『こちらから申込できます』のリンク先よりお願いいたします」
大学HP「公開講座」（技術者養成研修以外も掲載されます）

<https://www.tut.ac.jp/develop/cooperation/ecourse.html>



2025年度豊橋技術科学大学技術公開講座

初級機械加工

機械加工を体験し業務に生かしたい技術・技能者向け

初級技術者や初級技能者の方、また普段設計業務をしていますが実際の機械加工経験がない技術者の方向けに、知っておきたい、興味があるけど今さら聞けない「機械加工」について体験学習をします。

実習では 旋盤/フライス盤/レーザ加工機 を使用します。

講師は機械工学系 小林正和教授、田尻大樹助教が講義を、技術支援室工作支援チーム技術職員が実習を担当します。

日時

第1回 2025年 6月 4日（水）～ 5日（木）
9：30～16：30
第2回 2025年10月23日（木）～24日（金）
9：30～16：30

会場

豊橋技術科学大学
教育研究基盤センター附属実験実習工場

定員：4名
初心者対象

※ 最少催行人数2名

担当講師

【講義】小林 正和（機械工学系・教授）
田尻 大樹（機械工学系・助教）

【実習】教育研究基盤センター
工作支援部門 技術職員

課題（ハンマー）



【お問い合わせ先】

豊橋技術科学大学 研究推進課 研究推進係
TEL：0532-44-6549
E-mail：kencen@office.tut.ac.jp

開催日時および時間割

○ 1日目 2025年6月4日(水) / 2025年10月23日(木)

日 程	内 容		場 所
9:30 ~ 9:45	受 付	受講料お支払い、テキスト等配付、着替え等	教育研究基盤センター 附属実験実習工場
9:45 ~ 10:00	開講式	教育研究基盤センター長挨拶（石川靖彦教授） 講師紹介	〃
10:00 ~ 11:00	講 義	工作機械の種類と概要（小林正和教授, 田尻大樹助教）	〃
11:00 ~ 11:30	説 明	実習内容と安全講習（工作支援チーム 技術職員）	〃
11:30 ~ 12:30	昼休憩		福利施設等
12:30 ~ 16:15	実 習	1) フライス盤 : ドリル・エンドミル加工 2) 普通旋盤 : 円筒削り（外丸削り）・タップ	教育研究基盤センター 附属実験実習工場
16:15 ~ 16:30	質疑応答		〃

○ 2日目 2025年6月5日(木) / 2025年10月24日(金)

9:15 ~ 9:30	受 付		教育研究基盤センター 附属実験実習工場
9:30 ~ 11:30	実 習	1) フライス盤 : ドリル・エンドミル加工 2) 普通旋盤 : 円筒削り（外丸削り）・タップ	〃
11:30 ~ 12:30	昼休憩		福利施設等
12:30 ~ 16:00	実 習	1) フライス盤 : ドリル・エンドミル加工 2) 普通旋盤 : 円筒削り（外丸削り）・タップ 3) レーザ加工機 : レーザーマーキング	教育研究基盤センター 附属実験実習工場
16:00 ~ 16:15	質疑応答		〃
16:15 ~ 16:30	閉講式	講師挨拶 修了証書授与、写真撮影 教育研究基盤センター長挨拶	〃

- 作業着は各自でお持ちください。（安全靴、安全メガネ、作業帽子は貸出可能）
- 修了証書：全課程を修了された方には修了証書を授与

対象	企業等の技術者、高等専門学校／工業高校教職員 等
受講料	10,500円 ※保険料500円含 （受講料は当日、受付において現金でお支払い願います）
申込期限	○2025年5月21日（水）（6月開催分） / 2025年10月9日（木）（10月開催分） （定員になり次第、受付を終了させていただきます）
申込方法	「お申込みはこちらのページ『技術者養成研修』内の 『こちらから申込できます』のリンク先よりお願いいたします」 大学HP「公開講座」（技術者養成研修以外も掲載されます） https://www.tut.ac.jp/develop/cooperation/ecourse.html 

※ ご記入いただきました住所等の個人情報は、豊橋技術科学大学が実施する催事情報をお知らせする目的以外には使用いたしません。

2025年度豊橋技術科学大学技術公開講座

初級フライス加工

機械加工を体験し業務に生かしたい技術・技能者向け

設計や加工担当の新入社員の研修に最適！

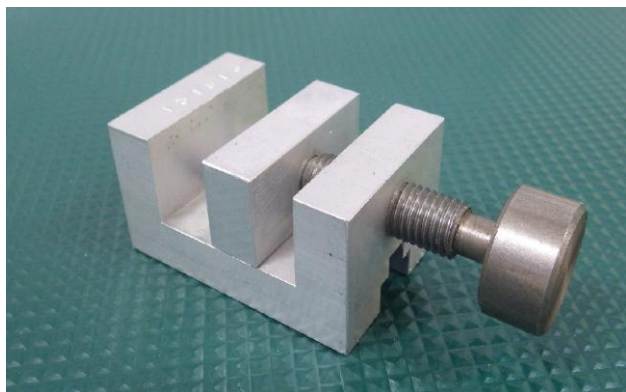
マシニングセンタなどの数値制御による工作機械の基礎である「フライス盤」を中心に使用して、ミニバイス作りを体験します。それぞれの加工体験を通して、数値制御や座標系とともに刃具周速度、送り速度および切り込み量といった切削条件の基礎的概念が学べます。また、研修会終盤には大学が保有する各種工作機器の見学ツアーもご用意しています！

日時

2026年 2月17日（火）～ 18日（水）
9：30～16：30

会場

豊橋技術科学大学
教育研究基盤センター附属実験実習工場



課題（バイス）設計変更有り

定員：4名
初心者対象

※ 最少催行人数 2名

担当講師

【講義】小林 正和（機械工学系・教授）
田尻 大樹（機械工学系・助教）

【実習】教育研究基盤センター
工作支援部門 技術職員

開催日時および時間割

○ 1日目 2026年2月17日(火)

日 程	内 容		場 所
9:30 ～ 9:45	受 付	受講料お支払い、テキスト等配付、着替え等	教育研究基盤センター 附属実験実習工場
9:45 ～ 10:00	開講式	教育研究基盤センター長挨拶（石川靖彦教授） 講師紹介	〃
10:00 ～ 11:00	講 義	工作機械の種類と概要（小林正和教授, 田尻大樹助教）	〃
11:00 ～ 11:30	説 明	実習内容と安全講習（工作支援チーム 技術職員）	〃
11:30 ～ 12:30	昼休憩		福利施設等
12:30 ～ 16:15	実 習	1) フライス盤 : ドリル・エンドミル加工	教育研究基盤センター 附属実験実習工場
16:15 ～ 16:30	質疑応答		〃

○ 2日目 2026年2月18日(水)

9:15 ～ 9:30	受 付		教育研究基盤センター 附属実験実習工場
9:30 ～ 11:30	実 習	1) フライス盤 : ドリル・エンドミル加工	〃
11:30 ～ 12:30	昼休憩		福利施設等
12:30 ～ 16:00	実 習	1) フライス盤 : ドリル・エンドミル加工 2) レーザ加工機 : レーザーマーキング 3) 工場見学	教育研究基盤センター 附属実験実習工場
16:00 ～ 16:15	質疑応答		〃
16:15 ～ 16:30	閉講式	講師挨拶 修了証書授与、写真撮影 教育研究基盤センター長挨拶	〃

- 作業着は各自でお持ちください。（安全靴、安全メガネ、作業帽子は貸出可能）
- 修了証書：全課程を修了された方には修了証書を授与

対象	企業等の技術者、高等専門学校／工業高校教職員 等
受講料	10,500円 ※保険料500円含 （受講料は当日、受付において現金でお支払い願います）
申込期限	○ 2026年2月3日（火） （定員になり次第, 受付を終了させていただきます）
申込方法	「お申込みはこちらのページ『技術者養成研修』内の 『こちらから申込できます』のリンク先よりお願いいたします」 大学HP「公開講座」（技術者養成研修以外も掲載されます） https://www.tut.ac.jp/develop/cooperation/ecourse.html 

※ ご記入いただきました住所等の個人情報は、豊橋技術科学大学が実施する催事情報をお知らせする目的以外には使用いたしません。

令和7年(2025年)度 定例記者会見日程

第1回	4月18日(金)	10:30～	事務局3階大会議室
第2回	6月20日(金)	10:30～	事務局3階大会議室
第3回	8月 8日(金)	10:30～	事務局3階大会議室
第4回	10月17日(金)	10:30～	事務局3階大会議室
第5回	12月 5日(金)	10:30～	事務局3階大会議室
第6回	2月26日(<u>木</u>)	10:30～	事務局3階大会議室

定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以 上